

A

2026(令和8)年度入学試験 地—A—問

地理総合， 地理探究

(注意：解答はすべて所定の解答用紙に記入すること)

この問題冊子は， 9 ページあります。

試験中に問題冊子の印刷不鮮明， ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は， 手を高く挙げて監督者に知らせてください。

〔I〕 次の文章を読み、あとの設問に答えよ。

ミユキさんは夏休みに、大西洋上の島国であるアイスランドに旅行に出かけた。日本との時差は年間を通して9時間である。その時差から経度の差を求めると **ア** 度になる。アイスランド上空を飛行中には、火山が噴火する様子が確認できた。調べてみると、アイスランドはプレートが **イ** 境界に位置するため、火山活動が活発な国であることがわかった。火山に興味を持ったミユキさんは、噴気の出る地熱地帯にも行ってみた。そこでは図1のような施設が立ち並んでいた。^①道路から氷河が見えたので、高台に移動して観察してみると、氷河の縁や末端の周辺には土砂が堆積した堤防状の地形(図2中の矢印)^②が確認できた。この場所ではGNSS(Global Navigation Satellite System)の情報を記録した。^③氷河からは融解により大量の水が流れ出しており、それが水力発電に利用されていた。アイスランドの電力について調べてみると、総発電量のうち水力発電量は約7割を占め、残りの3割は地熱発電によるものだとわかった。^④さらに、横断面がスプーンで削り取ったような形の谷や、深く入り込んだ入り江(図3)^⑤など壮大な景色をたくさん見ることができた。^⑥

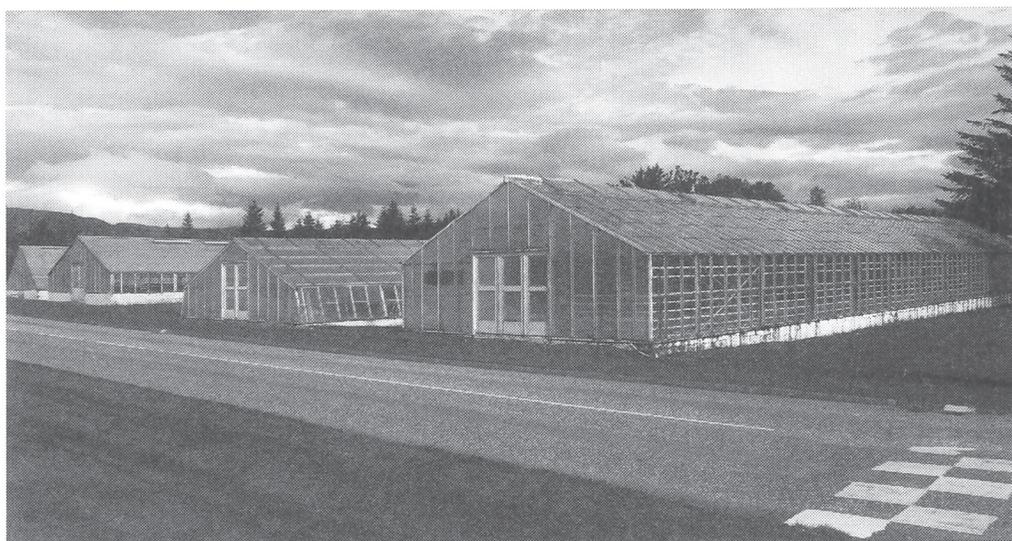


図1



图 2



图 3

問 1 文章中の空欄 **ア** にあてはまる数値を答えよ。

問 2 文章中の空欄 **イ** にあてはまる語句として適切なものを次のなかから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 狭まる ② 衝突する ③ 広がる ④ ずれる

問 3 下線部②について、地熱地帯で特徴的に見られた図 1 の施設は何か。その用途も含めて説明せよ。

問 4 下線部③について、この地形の名称を答えよ。またその形成過程について説明せよ。

問 5 下線部④の GNSS とは何か説明せよ。

問 6 下線部⑤に関連して、2022 年における日本の発電電力について、水力発電と地熱発電を合計した発電量の割合として適切なものを次のなかから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 10 % 以下 ② 30 % ③ 50 %
④ 70 % ⑤ 80 % 以上

問 7 下線部⑥について、この地形の名称を答えよ。

問 8 下線部⑦について、この地形の名称を答えよ。

問 9 下線部⑧について、この地形の形成過程について説明せよ。

問 1 次の(1)~(4)の文章は、図 1 中の自然災害伝承碑 A~D の「伝承内容」の一部を引用したものである。文章(1)~(4)に対応する自然災害伝承碑をそれぞれ一つ選べ。

- (1) 昭和 35 年(1960) 5 月 23 日のチリ地震津波でも翌 24 日に 12 回にわたって津波が襲い、11 名が犠牲となり 534 戸が被災した。
- (2) 大正 15 年(1926) 5 月 24 日、十勝岳が大爆発した。積雪が溶け火山泥流が発生し、144 名の尊い人命とともに、家畜も大きな被害を受けた。
- (3) 寛保元年 7 月 16 日(1741 年 8 月 26 日)、大島(渡島大島)が突然噴火し、同 19 日(同 29 日)早朝に大津波が襲来した。
- (4) 1993 年 7 月 12 日午後 10 時 17 分に発生した北海道南西沖地震はマグニチュード 7.8 と日本海では観測史上最大級で、激しい地震の数分後に大津波が押し寄せた。

問 2 下線部㉔に関連して、日本列島で発生する災害の特徴について述べた文章として適切なものを次のなかから一つ選び、番号で答えよ。

- ① 2000 年以降台風が毎年 20 個以上上陸し、暴風と豪雨による甚大な被害を出している。
- ② 南海トラフでは過去何度も巨大なプレート境界型地震が発生し、多大な被害をもたらしてきた。
- ③ 東日本の中央部を走る火山前線の東側で度々大規模な噴火が起き、死者が発生する。
- ④ 近年では線状降水帯の形成による豪雪で、北日本を中心に死者が増加傾向にある。

問 3 下線部㉕のようになる理由を説明せよ。

問 4 自然災害伝承碑は災害の内容で区分されるが、北海道には「高潮」災害を示す自然災害伝承碑が一つもない。考えられる自然的理由を説明せよ。

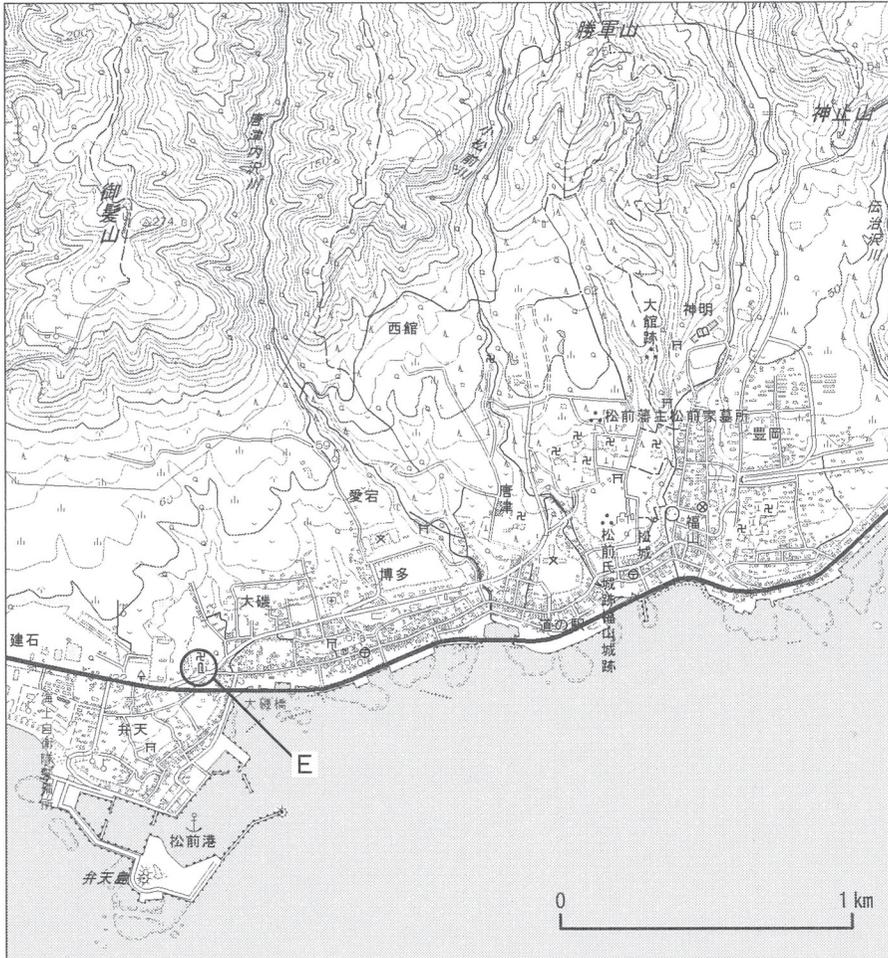


図 2

出典：2025 年調整電子地形図 25000

問 5 図 1 中 E の自然災害伝承碑がある地域を示したのが図 2 の地形図である。自然災害伝承碑の立地と周囲の状況から見て、この自然災害伝承碑(E)が記す自然災害は何と考えられるか。適切なものを次のなかから選び、番号で答えよ。

- ① 洪水 ② 土砂災害 ③ 伝染病 ④ 津波

問 6 図 2 の地域は、中世から近世にかけての和人による蝦夷地(北海道)経営の拠点であったが、近代以降は北海道の政治経済の中心から外れた。その理由を、北海道全体の地図(図 1)や地形図(図 2)を参考にして説明せよ。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、あとの設問に答えよ。

アフリカ大陸は、世界最大の砂漠である 砂漠を境に、北アフリカと 以南アフリカに大別される。自然環境の面では、熱帯と乾燥帯が占める割合が大きく、赤道を中心に熱帯雨林、その周りにサバナ気候の疎林や草原、さらに外側にステップ、砂漠が広がっている。このような自然条件や植生を活かして、熱帯雨林気候では草木灰そうもくかいを肥料とする 農業、サバナ気候では と牧畜を組み合わせた生業が盛んである。北アフリカの 沿岸地域では、古くから麦類やオリーブ、柑橘類などを栽培する 式農業が発達した。

アフリカの産業構造には、このような自然条件や植生の多様性に加えて、かつてのヨーロッパ諸国による植民地支配の影響が色濃く残っている。これによって、宗主国の経済利益を最優先とした商品作物の生産や鉱産資源の開発が進められ、その結果、独立後のアフリカ諸国でも特定の作物や資源輸出に依存する 経済が形成された。こうした歴史や経済構造は、アフリカ諸国の関係性に様々な歪みを生み出し、内戦や紛争が広がった。近年はそのような状況からの脱却を目指し、AUの枠組みによる政治的・経済的統合やアフリカ以外の国との国際協力が強化されつつある。

問 1 空欄 ・ ・ ・ にあてはまる語句を答えよ。

問 2 下線部③の植生が広がる地域では、一年を通じて高温多雨な気候が続くが、おもに昼過ぎから夕方にかけて突発的に降る激しい雨の名称を答えよ。

問 3 下線部④の気候について降水量に関わる特徴を答えよ。

問 4 下線部㉓の関係に該当するヨーロッパの国とアフリカの国の組み合わせとして適切なものを二つ選び、番号で答えよ(順不同)。

- ① スイス — エチオピア
- ② イギリス — スリランカ
- ③ フランス — マリ
- ④ イタリア — リビア
- ⑤ オランダ — セネガル

問 5 下線部㉔について説明した文章として**適切でないもの**を一つ選び、番号で答えよ。

- ① コートジボワールやガーナではカカオ豆のプランテーション農業が盛んで、世界的な生産地となっている。
- ② 植民地時代に導入されたプランテーション農業は、各国の独立後に行われなくなった。
- ③ ザンビアでは銅、ボツワナではダイヤモンドが重要な輸出品目となっている。
- ④ 南アフリカ共和国では、バナジウムやプラチナなどのレアメタルが豊富に産出する。

問 6 2002年に発足した下線部㉕の地域連合体の名称を日本語で答えよ。

問 7 下線部㉖について、2010年代に**一帯一路**構想を打ち出し、アフリカ諸国と急速に協力関係や影響力を強めている国として適切なものを一つ選び、番号で答えよ。

- ① アメリカ合衆国
- ② 中国
- ③ ロシア
- ④ 日本